



前進座公演

山本周五郎・原作

十島英明・台本・演出

喜劇一幕

臆病者の双子六兵衛は
兄のせいで嫁げないと泣く妹のために
引受手のいない上意討ちに名乗りをあげた
果たして、剣豪へどう立ち向かうのか



NPO 法人札幌えんかん 6月観劇会

日時 2020年 11月 9日 (月) 19:00 (聞こえのサポート)

11月10日 (火) 13:00 (聞こえのサポート・託児)

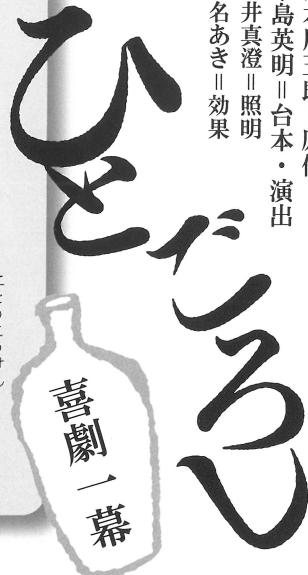
会場 カナモトホール（札幌市民ホール）

主催・お問い合わせ NPO 法人札幌えんかん 札幌市中央区北1条西3丁目 ReePRO(リープロ)ビル2階
TEL 011-241-7081 <http://enkan.life.coocan.jp>



前進座公演

山本周五郎＝原作
十島英明＝台本・演出
桜井真澄＝照明
川名あき＝効果



「どうせ自分なんかっ！」

自信を失った現代の若者たちに送る“臆病者”の物語。

藩内一の臆病者だからこそできる、やさしくおかしな仇討とは――？



中嶋宏太郎

上沢美咲

新村宗二郎

渡会元之

この作品（1964年）は滑稽物（こつけいもの）の最後の作品です。
「ひとつごろし」は、英雄豪傑の類が大嫌いだった作者の面目躍如とした作品です。越前福井藩中で臆病者と噂されて自身もそう思つてゐる家臣が、殿の小姓頭を斬り殺した剣術の達人の討手を志願した物語です。さて、どんな結末になるのでしょうか！

舞台は“コロス”と演技（アクション）による笑劇（ラルス）として創りました。皆さんの豊かな感性と想像力に依拠（いきよ）した舞台です。

演劇は観客と舞台との交流によって成り立っています。ですから、みなさんは今日のこの舞台の創造者なのです。

みなさんと創り上げた今日の舞台は、二度と再現することはできないのです。

さあ、開幕ベルが鳴りましたよ。いよいよ開幕です。

役となり語り手ともなる4人のコロスが、八面六臂。楽器を奏で、音具を操り、人はもちろん馬や犬、蟬や鈴虫、風・雨・風鈴・幟までを演じきる笑劇。「人を殺したり、切腹するのを見るのは好きじゃない」

臆病者の上意討ちのてんまつは――

「ひとつごろし」について

山本周五郎について

山本周五郎（1903～

1967）は、終生いつさいの権威や名誉にこびへつらうことがあります。数々の賞も直木賞をはじめ、数々の賞もすべて辞退しています。

英雄や豪傑を好み、つねに政治や経済と切り離され、ことしもその恩恵にあずかることのない絶対多数の庶民や身分の低い武士をとりあげ、その喜びやかなしみに、深い共感をよせた作品を数多く残しています。

山本さんは、英國のビクトリア朝期の詩人口バート・ブルーイングの『人間の真価』は、その人が死んだとき、何を為したかで決まるのではなく、その人が生きていた時、何を為そうとしたかにある』という名言を座右の銘にしていました。

その多くの作品の底を貫いて流れているのは無償の愛という精神であり、どんな逆境にもめげず生きることの尊さ、素晴らしい生きたいあげた人間讃美などといえましょう。

【これからの観劇会】

8月 加藤健一事務所『煙が目にしみる』

原案／鈴置洋孝 脚本・演出／堤泰之
出演／加藤健一 天宮良 ほか

10月 真野響子一人舞台『夏目漱石 夢十夜』

原作／夏目漱石 演出／竹内晶子
出演／真野響子

【入会のお願い】

会費を一年間積み立てて、その会費で様々な演劇を定期的に（年6本）鑑賞している会員制の市民団体です。

会費だけで運営しているので「観劇料」は不要です。

（一般券・当日券はありません）

三人以上のサークル（グループ）を組んで入会するか、お知り合いのサークルにお入りください。（三人揃わない場合はご相談を）

※入会金／1,500円 新しいサークルを作つて入会すると会員全員が入会金無料となります。

※月会費／大人 2,800円、学生 2,000円、中高生 1,000円